

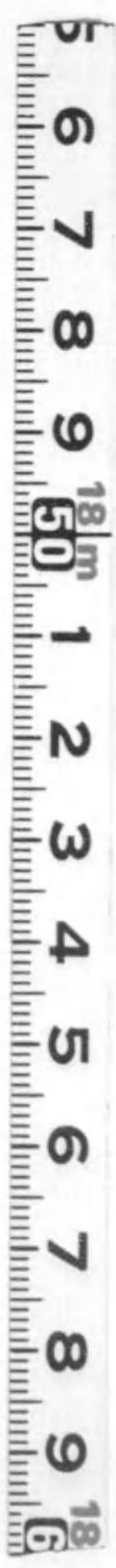
324  
571

基督降生紀元千九百十八年 (大正七年)

日本美普教會第廿七回年會議事錄

自三月廿八日  
至四月一日

會場 江尻美普教會



始



324-571

日本美普教會第貳拾七回年會員名簿  
教師 (正會員)

姓	名	年會ニ屬シタル年	按手禮ヲ領ケタル年	姓	名	年會ニ屬シタル年	按手禮ヲ領ケタル年
畑	純三	一八九二	一八九三	稻	沼鑄代太	一八九二	一八九四
津川	彌久茂	一八九五	一八九八	大儀	見元一郎	一八九八	一八八一
田村	德	一九〇二	一八九六	和	田秀豊	一九〇四	一八八一
イ、アイ、オ、ビ		一九〇五	一九〇六	小	泉攝	一八九六	一九〇四
今	田強	一九〇五	一九〇八	リ、レイ、マン		一九〇九	一八九四
酒	井長吉	一九〇五	一九一〇	水	野重吉	一九〇五	一九一〇
大	竹清	一九〇六	一九一二	近	藤優	一九〇六	一九一四
境	野周次郎	一九〇六	一九一四	大	塚泉彌	一九〇九	一九一七
字	佐美市平	一九〇九	一九一七	小	泉要太郎	一九一四	一九一八
赤	石義明	一九一四	一九一八	高	橋信一	一九一四	一九一八

7. 6. 5  
内交

教師試補(准會員)

姓	名	年會ニ屬シタル年	姓	名	年會ニ屬シタル年	姓	名	年會ニ屬シタル年
飯田	角藏	一九〇八	石田	義一	一九一五			

信徒總代(正會員)

教會	姓	名	教會	姓	名	教會	姓	名
東京麻布	原田	朴哉	東京小石川	桐山	齊之助	東京淺草	岩田	秀三
横濱第一	天野	辨藏	横濱第二	小池	常吉	横濱第三	鈴木	貞三
平塚	肥後	幸吉	伊勢原	岩田	光平	靜岡	加藤	清作
濱松	梁川	健雄	江尻	岩崎	敬吉	蒲原	青山	太一郎
鷹岡	林	赤吉	名古屋第一	奥居	卯平	名古屋第二	木村	克己
名古屋第三	渡會	三郎	四日市	濱野	眞平	半田	柿沼	廣一

年會役員

年會議長  
英語書記  
邦語書記  
補助書記  
年會會計

稻沼鑄代太  
リ、レーマン  
水野重吉  
大竹清  
和田秀豊

委員

- 年會區常置委員
  - 酒井長吉
  - 和田秀豊
  - 中村英吉
  - オ、野、一、辨、藏
- 學事調査委員
  - イ、アイ、オービ(一年)
  - 水野重吉(一年)
  - 酒井長吉(二年)
  - 近藤優(二年)
  - 大儀見元一郎(三年)
  - 大竹清(三年)
- 神學生教育委員
  - 大儀見元一郎(一年)
  - イ、アイ、オービ(二年)
  - 酒井長吉(四年)
  - 木村克己(五年)
  - リ、レーマン(三年)
- 學校理事
  - 和田秀豊
- 學務總代理
  - 和田秀豊
- 教役者任命委員

稻沼鑄代太

常設委員

レーマン

木村克己

四

□ 教師傳道師資格調査委員

酒井長吉 (學事調査委員ニ同ジ) レーマン 近藤優 小池常吉

□ 交誼委員

奧居卯平 林赤吉 飯田角藏 梁川健雄

□ 年會長報告調査委員

田村徳 酒井長吉 梁川健雄 (常置委員ニ同ジ) 大竹清 桐山齊之助

□ 教役者職務調査委員

和田秀豊 オービ 大竹清 赤石義明 岩田秀三

□ 統計委員

岩崎敬吉 境野周次郎 小泉要太郎 赤石義明 岩田秀三 渡會三郎 柿沼廣一 津川彌久茂 原田扑哉 大儀見元一郎 大塚泉彌

□ 信徒總代證狀調査委員

鈴木貞三 大儀見元一郎 津川彌久茂 原田扑哉

□ 年會費分擔額調査委員

木村克己 畑純三 高橋信一 肥後幸吉 岩田光平 和田秀豊

□ 禮拜委員

小泉攝 酒井長吉

特別委員

□ 教會同盟委員

稻沼鑄代太 大儀見元一郎 中村英吉

□ 世界宣教日本繼續委員

稻沼鑄代太 境野周次郎

□ 野之聲編輯委員

高橋信一 小泉要太郎 小泉攝 境野周次郎

□ 美普教會歴史編纂委員

近藤優 畑純三 酒井長吉

□ 會計検査委員

田村徳 酒井長吉 濱野眞

□ 日曜學校實行委員

田村徳 境野周次郎 小泉要太郎

□ 横濱英和女學校顧問

横濱第三教會牧師 水野重吉 酒井長吉 濱野眞 小泉要太郎

□ 日曜學校協會教科書編纂委員

水野重吉 木村克己 酒井長吉

□ 特別傳道委員

高橋信一 近藤優 濱野眞 酒井長吉 小泉要太郎

□ 年會規則改正修正委員

酒井長吉 水野重吉 高橋信一 木村克己

□ 教役者俸給ニ關スル委員

酒井長吉 田村徳 水野重吉 木村克己

□ 客員制度調査委員

和田秀豊 水野重吉 大竹清 木村克己

□ 傳道會社返書起草委員

和田秀豊 酒井長吉 大竹清 木村克己

□ 教會合同研究委員

稻沼鑄代太 大儀見元一郎 和田秀豊 酒井長吉

□ 小山傳道調査委員

今田強 水野重吉 赤石義明

□ ミッション傳道區移管ニ關スル委員

田村徳 和田秀豊 木村克己

□ 憲法條例改譯委員

大儀見元一郎 稻沼鑄代太 和田秀豊

五

議 事

□ 第一日 (三月廿八日 木曜日)

- 一、日本美普教會第廿七回年會ハ大正七年三月廿八日午前九時静岡縣庵原郡江尻町美普教會堂(ゲ  
ーブンス、スベンス紀念教會堂)ニ於テ年會長稻沼鑄代太氏着席一同讚美歌九十五番ヲ歌ヒ、  
二〇一—十二ヲ朗讀祈禱ヲ以テ開會ス
- 二、書記名簿ヲ點呼ス、教師十五名、傳道師四名、信徒總代十二名出席(教師津川彌久茂、イ、アイ  
オービ欠席、傳道師、石田義一欠席、小石川教會總代桐山齊之助、淺草教會總代秋山竹二郎、  
橫濱第三教會總代鈴木貞三、平塚教會總代肥後幸吉、名古屋第三教會總代渡合三郎、四日市教  
會總代濱野眞、半田教會總代柿沼廣一欠席、
- 三、議長席ヲ離レ和田教師ヲシテ着席セシメ年會長報告ヲ朗讀ス、(報告第一號)
- 四、畑教師ノ動議ニヨリ之ヲ受入レ年會長報告調査委員ニ附托スルヲニ決ス、
- 五、議長復席、
- 六、書記教師津川彌久茂、イ、アイ、オービ、傳道師石田義一、平塚教會總代肥後幸吉氏ノ欠席届  
ヲ朗讀ス、
- 七、小石川教會總代桐山齊之助氏出席届出ヅ
- 八、書記再ビ教師傳道師ノ名簿ヲ點呼シ各教師、傳道師ハ年會報告書ヲ提出ス
- 九、田村教師ノ動議ニヨリ教師傳道師ノ口頭報告會ヲ開ク事ニ決シ各教師傳道師ハ擔任教會ニ於ケ  
ル過去一ケ年ノ傳道狀況ヲ報告ス、順序左ノ如シ、

畑、稻沼、田村、和田、小泉(攝)、今田、酒井、水野、大竹、近藤、境野、飯田、小泉(要)、  
赤石、高橋、

一〇、四日市教會總代濱野眞氏出席届出ヅ

一一、故南小柿教師遺族ヨリ謝狀ヲ本年會ニ寄セラレ書記之レヲ朗讀ス、

一二、水野教師ノ動議ニヨリ午后二時迄休會スルヲニ決ス 時ニ午前十時五十分

□ 年 會 說 教

午前十一時畑教師ノ司會ノ下ニ年會說教會開會、酒井教師ノ捧禱、大塚教師ノ聖書朗讀(約十七〇十  
五—廿二)アリテ後稻沼年會長ハ「耶蘇ノ理想ト教會ノ現狀」ノ題下ニ我教會將來ノ堅實ナル發展ハ各  
自基督ノ靈ニ滿サレ彼レノ理想ニ生クル事ニヨリテノミ期待シ得ル事ヲ最モ適切ニ又最モ熱烈ニ説述  
セラレ一同深キ印象ヲ受ケタリ、レーマン教師ノ祝禱ヲ以テ閉會

□ 午後ノ議事

- 一、午後二時議長着席
- 二、書記傳道會社ヨリ本年會ニ送ラレタル親書ヲ朗讀ス  
内重要問題ニ關シ、レーマン教師解説ヲ與ヘ然シテ稻沼教師ハ今年度(一千九百十七年ヨリ全  
十八年迄)モ年會長トシテ任命セラレタリ(本書ハ諸報告ノ前ニアリ)
- 三、酒井教師ノ動議ニヨリ該親書ニ對シ委員五名ヲ舉ゲテ之ガ回答文ヲ起草セシムルヲニ決ス  
但シ該委員ハ年會長指命ノ事
- 四、年會書記ノ選舉ヲ行フ、結果左ノ如シ

- 英語書記レーマン教師、邦語書記水野教師、補助書記大竹教師、當選
- 五、年會會計ノ選舉ヲ行フ
- 六、投票ノ結果和田教師當選
- 七、年會區常置委員ノ選舉ヲ行フ
- 八、投票ノ結果 酒井、和田、オービ、ノ三教師及ビ 木村氏、中村氏、天野氏、當選
- 九、學事調査委員中一部ノ改選ヲ行フ
- 一〇、投票ノ結果 大竹、大儀見、兩教師當選
- 一一、神學生教育委員ノ一部改選ヲ行フ
- 一二、投票ノ結果 木村總代當選
- 一三、學校理事ノ選舉ヲ行フ
- 一四、投票ノ結果 稻沼、和田、ノ兩教師當選
- 一五、教役者任命委員ノ選舉ヲ行フ
- 一六、和田教師ノ動議ニヨリ常設委員ノ指命終ル迄時間遷延ニ決ス
- 一七、投票ノ結果 レーマン教師、木村總代當選
- 一八、年會準備委員ノ報告提出(年會執行順序)受入ル、事ニ決ス
- 一九、議長ハ傳道會社へ回答文起草委員ニ和田氏 酒井氏 大竹氏 木村氏 梁川氏ヲ指命ス
- 二〇、議長ハ常設委員ヲ任命ス
- 二一、一同讚美歌百三十一番ヲ歌ヒ酒井教師ノ祝禱ヲ以テ閉會 時ニ午後四時十五分

□年會懇談會

- 午後七時江尻教會ニ於テ近藤教師司會ノ下ニ一同讚美歌十二番ヲ唱ヒ祈禱ヲ以テ開會
- 初メニ赤石傳道師ハ我教會ニ於ケル日曜學校問題ニ就キ説述セラレ
- 「我教會日曜學校ニハ適當ナル指導者(教師若クハ校長)ヲ得ルノ必要アリ、其他教科書參考書及ビカード等ノ參考品ヲ少ナクモ年會開期中閱覽ニ供スル事又日曜學校局ヲ設ケ一般ノ統一ト進歩トヲ計ル事等ニ就キ談ラレ
- 次ニ今田水野諸氏ノ意見發表アリテ一同讚美歌二百廿二番ヲ唱ヒ次ノ問題ニ移ル
- 木村總代ハ「教會ノ財政問題ニ就キ二方面アリ、
- 一、ハ日本ノ教會ヨリ出資スルモノ他ハ「ミツシヨ」ヨリノ補助金トス、ミツシヨヨリ助ケラル、ニ對シ各教會ニ於テモ一層出資セザルベカラズ然シテ其ノ主眼トスル所ハ傳道ニアル事ヲ高調セラレ續テ高橋小泉(要)境野、濱野、レーマン諸氏ノ熱心ナル意見ノ發表アリテ一同奮勵セラレン事多大ナリキ
- 最後ニ本日ハ主ノ受難日ナレバ一同讚美歌八十三番ヲ唱ヒグツセマテノ苦難ヲ憶ヘンガ爲メ跪キ默禱スルコト數刻續テ八十四番ノ讚美歌ヲ以テ閉會

□第二日 (三月廿九日、金曜日)

- 一、午前八時半小泉教師司會ノ下ニ祈禱會ヲ開ク
- 二、午前九時議長着席
- 三、書記前日ノ議事録ヲ朗讀ス
- 四、名古屋第三教會總代渡會三郎氏出席ノ旨届出ツ
- 五、禮拜委員報告提出受入ル、事ニ決ス(報告第二號)

- 六、年會長報告調査委員報告提出委員長ノ説明アリテ受入ル、事ニ決ス（全第三號）
- 七、年會會計報告提出、受入レテ會計調査委員ニ附托スル事ニ決ス（全第四號）
- 八、日本美普教會歴史編纂委員報告提出受入ル、事ニ決ス（全第五號）
- 九、田村教師ノ動議ニヨリ右委員ヲ繼續スル事ニ決ス
- 一〇、信徒總代証狀調査委員報告提出
- 一一、小泉教師ノ動議ニ依リ委員再附托ニ決ス
- 一二、野ノ聲委員報告提出
- 一三、大竹教師ノ動議ニ依リ委員再附托ニ決ス
- 一四、教會名簿改正委員報告提出受入ル、事ニ決ス（全第六號）
- 一五、野ノ聲委員報告再提出受入ル、事ニ決ス（報告第七號）會計報告ハ調査委員ニ附托
- 一六、半田教會總代柿沼廣一氏出席ノ旨届出ヅ
- 一七、濱野總代ノ動議ニ依リ野ノ聲委員報告再考ニ決ス
- 一八、大竹教師ノ動議ニ依リ野ノ聲委員ニハ前委員推薦ノ候補者以外ノ者ヲモ選舉シ得ル事ニ決ス
- 一九、野ノ聲委員報告ヲ修正ノマ、受入ル、事ニ決ス
- 二〇、野ノ聲委員選舉ヲ行フ
- 二一、動議ニ依リ多數決ヲ以テ定ムル事ニ決ス
- 二二、投票ノ結果小泉（要）氏高橋氏、境野氏、小泉攝氏、近藤氏當選
- 二三、年會規則修正委員報告提出（報告第八號）
- 二四、酒井教師ノ動議ニ依リ年會開期中、適當ナル時ニ於テ該委員修正ノ箇所ノミヲ逐條對議ニ附スル事ニ決ス

- 二五、右修正ノマ、受入ル、事ニ決ス
- 二六、教役者恩給制度調査委員報告提出受入ル、事ニ決ス（報告第九號）
- 二七、教役者職務上調査委員報告提出受入ル、事ニ決ス（報告第十號）
- 二八、一同讚美歌七十九番ヲ唱ヒテ休會時ニ正午十二時

午後ノ議事

- 一、午後二時開會議長着席
- 二、書記津川教師ノ欠席届ヲ朗讀ス
- 三、會計調査委員ノ選舉ヲ行フ
- 四、畑教師ノ動議ニ依リ右委員ヲ三名トシ議長指命ニ決ス
- 五、議長ハ田村氏酒井氏濱野氏ヲ該委員ニ指命ス
- 六、教會同盟委員ノ選舉ヲ行フ
- 七、田村教師ノ動議ニ依リ書記年會ニ代ツテ投票ヲ行フ其結果、稻沼、大儀見兩教師、中村英吉氏當選
- 八、日曜學校教科書編纂委員ノ選舉ヲ行フ
- 九、天野總代ノ動議ニ依リ前委員水野教師ヲ再選ニ決ス
- 一〇、次田四郎氏ノ神學生推薦取消願提出受入レテ教育委員ニ附托スル事ニ決ス
- 一一、年會員旅費滞在會費支給規定委員報告提出（第十一號）
- 一二、修正ヲ加ヘテ受入ル、事ニ決ス
- 一三、酒井教師ノ動議ニ依リ爾今傳道師（準會員）ヲ教師試補（準會員）ト改稱スル事ニ決ス

- 一四、酒井教師ノ動議ニ依リ爾今教師試補志願者ニシテ中學校ヲ卒業セザル者ハ國語、英語、數學ノ三科目ヲ中學校卒業程度ニテ試験ヲ受ケシムル事ニ決ス
  - 一五、酒井教師ノ動議ニ依リ日本譯憲法條例中信徒總代選舉法全部削除セラレシニ依リ英語憲法中該條項ヲ翻譯シ日本譯憲法條例中適當ナル場所ニ挿入スル事ニ決ス
  - 一六、レーマン教師ノ動議ニ依リ他ノ條項ヲモ合セ昨年ノ該委員ヲシテ翻譯訂正セシメ本年度議事録ニ掲載セシムル事ニ決ス
  - 一七、水野教師ノ動議ニ依リ書記ノ手許ニアル事務終了迄時間遷延ニ決ス
  - 一八、禮拜說教委員報告(第十二號)提出受入ル、事ニ決ス
  - 一九、書記神學生ヨリノ請願書ニ通テ朗讀シ教育委員ニ附託スル事ニ決ス
  - 二〇、天野梁川兩總代ハ年會規則改正案ヲ提出ス
  - 二一、奥居總代ノ動議ニ依リ卓上ニ置ク事ニ決ス
  - 二二、書記信徒總代一同ヨリノ案内即本夕七時ヨリ清江館ニ於テ教役者ノ慰勞會ヲ催シタシトノ招待狀ヲ朗讀サレ一同喜ンデ其招キニ應ズルコトニ決ス
  - 二三、加藤總代ハ明日欠席ノ旨届出
  - 二四、水野教師ノ動議ニ依リ明朝八時半迄休會ニ決ス
  - 二五、一同八十二番ヲ唱ヒ大儀見教師ノ祝禱ヲ以テ休會時ニ四時半
- 第三日 (廿日土曜日)
- 一、午前八時半宇佐美教師ノ司會ノ下ニ祈禱會ヲ開ク
  - 二、午前九時議長着席

- 三、書記前日ノ議事録ヲ朗讀ス
- 四、信徒總代証狀調查委員報告提出(報告第十三號)受入ル、事ニ決ス
- 五、會計檢査委員報告提出受入ル、事ニ決ス(報告第十四號)
- 六、田村教師ノ動議ニ依リ蒲原教會信徒三名出席ニ付特別席ヲ與フル事ニ決ス
- 七、同胞教會ヲ代表シテ吉田牧師來訪セラレ鄭重ナル挨拶ヲ述ベラレタリ
- 八、年會ハ大儀見教師ヲシテ答辭ヲ述ベシム
- 九、統計委員報告提出(統計表)
- 一〇、水野教師ノ動議ニ依リ平均數欄ヲ修正ノ上受入ル、事ニ決ス
- 一一、濱野梁川、天野、奥居、木村諸總代ハ徹底的傳道ヲ實行セラレン爲無條件ヲ以テ金貳百圓ヲ本年會ニ提供セラル
- 一二、大儀見教師ノ動議ニ依リ感謝ヲ以テ之ヲ受入ル、事ニ決ス
- 一三、大儀見教師ノ動議ニ依リ右傳道方法調查委員七名ヲ教役者及信徒總代ヨリ選舉シ之レヲ調査シテ本年會ニ報告セシムル事ニ決ス
- 一四、大儀見教師ノ動議ニ依リ右選舉ハ多數決ニ依リテ定ムル事ニ決ス
- 一五、傳道方法調查委員ノ選舉ヲ行フ、
- 一六、投票ノ結果、木村氏、水野氏、酒井氏、高橋氏、小泉(要)氏、近藤氏、濱野氏、當選
- 一七、酒井教師ハ境野教師ノ賛成ヲ得テ牧師傳道者俸給額規定方法ノ動議ヲ提出ス
- 一八、一同讚美歌二百七十七番ヲ唱ヒテ午後二時迄休會

午後ノ議事



- 一、午後二時議長着席
- 二、横濱第三教會總代鈴木貞三氏出席ノ旨届出ル
- 三、大竹教師ノ動議ニ依リ牧師傳道者俸給額問題ニ關シ五名ノ委員ヲ選ビミツシヨント交渉セシメ來年度ノ年會ニ報告セシムル事ニ決ス
- 四、右修正ノマ、受入ル、事ニ決ス
- 五、日曜學校實行委員報告提出（報告第十五號）
- 六、大儀見教師ノ動議ニ依リ之レヲ受入レテ逐條對議ニ附スル事ニ決ス
- 七、修正ヲ加ヘテ全部受入ル、事ニ決ス
- 八、和田教師ノ動議ニ依リ日曜學校實行委員三名ハ議長指命トスル事ニ決ス
- 九、勤續表彰委員報告提出受入ル、事ニ決ス（報告第十六號）
- 一〇、學事調査委員報告提出受入ル、事ニ決ス（報告第十七號）
- 一一、特別傳道方法調査委員報告提出受入ル、事ニ決ス（報告第十八號）
- 一二、小泉教師ノ動議ニ依リ特別傳道委員ハ同調査委員ヲ其儘該委員トスル事ニ決ス
- 一三、神學生教育委員報告提出受入ル、事ニ決ス（報告第十九號）
- 一四、水野教師ノ動議ニ依リ書記ノ手許ニ在ル事務終了迄時間遷延ニ決ス
- 一五、神學生教育委員報告中神戸ニ於ケル神學生ノ傳道計畫ニツキ議論アリ、
- 一六、水野教師ノ動議ニ依リ右傳道ノ件ニ付キ本日出席中ノ杉浦神學生ノ本件ニ對スル發言ヲ許ス事ニ決ス
- 一七、杉浦神學生ハ神戸傳道希望ノ意見ヲ述ブ
- 一八、水野教師ノ動議ニ依リ該項目中ノ但書ヲ削除修正ノ上受入ル、事ニ決ス

- 一九、酒井教師ノ動議ニ依リ年會長報告中ニアル世界平和ノ爲メ明卅一日朝禮拜後祈禱會ヲ開ク事ニ決ス
- 二〇、天野總代ハ憲法條例中參事員ノ解決ニ付キ質問書ヲ提出ス
- 二一、レーマン教師ノ動議ニ依リ憲法委員三名ニ附托シテ之ガ説明ヲナサシムル事ニ決ス
- 二二、レーマン教師ハ教會ノ合同ガ日本ニ於ケル我教派ノ勢力ヲ一層速カニ強メ又一層速カニ神ノ王國ヲ來ラシムルモノト意思セラル、時ハ斯ル合同ヲ實現セシムル上ニ於テ本年會ハ其權内ニ屬スル凡テノ努力ヲ盡スハ其權利ニシテ又義務ナリトストノ決議案ヲ提出セラル
- 二三、酒井教師ノ動議ニ依リ時間少キ故ヲ以テ右議題ハ卓上ニ置ク事ニ決ス
- 二四、静岡教會副總代村松亮一氏明日ヨリ正總代ニ代ツテ出席ノ旨届出ツ
- 二五、一同讚美歌百六十二番ヲ唱ヒレーマン教師ノ祝禱ヲ以テ休會時ニ午後五時

□廿五年勤續表彰會

○午後七時江尻教會ニ於テ稻沼、畑兩教師廿五年表彰式ヲ田村教師司會ノ下ニ執行ス、順序左ノ如シ

- 一、讚美歌第九十五番
- 二、聖書朗讀小泉要教師
- 三、近藤教師
- 四、讚美歌第二百六十一番
- 五、紀念品贈呈梁川總代
- 六、祝詞
- イ、ミツシヨン代表レーマン教師
- ロ、教役者代表酒井教師
- ハ、信徒總代々表木村總代
- 七、讚美歌有志者
- 八、答辭稻沼、畑兩教師
- 九、讚美歌第二百五十八番
- 十、祝禱大儀見教師

□第四日 (三月三十一日、日曜日)

午前八時半江尻教會ニ於テ日曜學校大會ヲ開ク

辯士 濱野真君同十時禮拜式執行水野教師「湖畔復活ノ耶蘇」ト題シテ説教セラル、同午後二時境野教師「聖餐ノ真意ト其教訓」ト題シテ説教セラル終ツテ聖餐式執行、傳道師小泉要太郎、同赤石義明。同高橋信一ノ三氏ノ按手禮式執行

午後七時傳道説教會ヲ開ク辯士ハ高橋、レーマン兩教師、此外静岡教會禮拜ニハ深川和田教師説教セラレ蒲原教會ニテハ午後七時半境野大竹兩教師説教セラル

□第五日 (四月一日、月曜日)

- 一、午前八時半飯田傳道師司會ノ下ニ祈禱會ヲ開ク
- 二、午前九時畑教師年會長ニ代ツテ議長席ニ着キ開會ヲ宣ス
- 三、書記前度ノ議事録ヲ朗讀ス
- 四、横濱第一教會副總代谷村惠氏天野正總代ニ代ツテ出席ノ旨届出ツ
- 五、平塚教會總代肥後幸吉氏出席ノ旨届出ツ
- 六、書記ハ教會同盟ヨリノ祝電朗讀ス
- 七、津川教師ノ動儀ニ依リ右ハ交誼委員ニ委託スル事ニ決ス
- 八、年會費分擔額調査委員報告提出二三對議ノ上受入ル、事ニ決ス(報告第二十號)
- 九、米國傳道會へ返書起草委員報告提出受入ル、事ニ決ス(報告第二十一號)
- 一〇、水野教師ハ本年ノ年會ハ恩寵豊カナル年會ニテ二教師ノ廿五年勤續表彰及ビ三傳道師ノ按手禮アリ紀念ノ爲撮影致度旨緊急動議トシテ提出ス
- 一一、水野教師ノ動議ニ依リ右委員ハ田村教師及ビ江尻教會總代トスル事ニ決ス
- 一二、憲法改譯委員報告(第四款第一條)提出受入ル、事ニ決ス(報告第廿二號)

一三、特別傳道委員報告提出(報告第廿三號)

- 一四、小泉攝教師ノ動議ニ依リ一切ヲ委員ニ委託シテ受入ル、事ニ決ス
- 一五、樺太傳道會委員報告(第廿四號)提出受入ル、事ニ決ス
- 一六、野ノ聲委員ヨリ野ノ聲經營法案提出受入ル、事ニ決ス(報告第廿五號)
- 一七、高橋教師ノ動議ニ依リ日本美普教會年會規則ヲ完成セシムル委員三名ヲ選ブ事
- 一八、酒井教師ノ動議ニ依リ「修正案ヲ基礎トシテ」ト修正ヲ加フルコト
- 一九、右修正ノマ、受入ル、事ニ決ス
- 二〇、右三名ノ委員ヲ選舉ス
- 二一、投票ノ結果酒井、水野、高橋三教師當選
- 二二、書記ハ同愛訓盲院ヨリハ諸願書(年會員ノ同情ト協力ヲ望ム)ヲ朗讀ス
- 二三、同院長大儀見教師ノ説明アリテ受入ル、事ニ決ス
- 二四、神學生教育委員一部報告提出(第廿六號)
- 二五、水野教師ノ動議ニ依リ受入レテ會計檢査委員ニ附託スル事ニ決ス
- 二六、稻沼年會長着席
- 二七、今田教師ノ動議ニ依リ常役委員中日曜學校委員ヲ削除スル事ニ決ス
- 二八、議長ハ日曜學校實行委員ニ田村、小泉要、境野三教師ヲ指命ス
- 二九、議長ハ牧師傳道師俸給額交渉委員ニ酒井、田村、水野三教師、木村、梁川、兩總代ヲ指命ス
- 三〇、動議ニ依リ午後二時迄休會ニ決ス、時ニ十一時半

□午後ノ議事

- 一、午後二時議長着席開會ヲ宣ス
- 二、議長ハ畑教師ヲシテ議長ニ代ツテ着席セシム
- 三、酒井教師ノ動議ニ依リ昨日卓上ニ置カレタル教會合同ノ可否ニ關スル動議ヲ取上ケ對議スル事ニ決ス
- 四、高橋教師ノ動議ニ依リ教會合同ニ關スル決議案ヲ可決ス
- 五、レーマン教師ノ動議ニ依リ教會合同考究委員ヲ選ブ事ニ決ス
- 六、水野教師ノ動議ニ依リ右委員ハ年會長ヲ加ヘテ五名トシ議長指命ニ決ス
- 七、會計検査委員報告提出受入ル、事ニ決ス
- 八、議長ハ教會合同考究委員ニ稻沼、大儀見、和田、酒井、水野ノ五教師ヲ指命セリ
- 九、昨日卓上ニ置カレタル年會規則改正ニ對スル件ハ明年迄卓上ニ置ク事ニ決ス
- 一〇、赤石教師ハ客員制度採用調査案ヲ提出
- 一一、赤石教師ノ動議ニ依リ委員三名ヲ選ビ來年度年會ニ於テ報告セシムル事ニ決ス
- 一二、酒井教師ノ動議ニ依リ終了迄時間遷延ニ決ス
- 一三、レーマン教師ハ小山傳道ニ關シ年會ノ意向ヲ知ラン事ヲ請求ス
- 一四、レーマン教師ノ希望ニ依リ小山傳道ヲ助ケラレシ今田、水野、赤石、大竹ノ諸教師ニ意見ヲ求ム
- 一五、高橋教師ノ動議ニ依リ委員三名ヲ議長指命ニテ定メミツシヨニ回答セシムル事ニ決ス
- 一六、議長ハ該委員ニ今田、水野、赤石ノ三教師ヲ指命ス
- 一七、酒井教師ノ動議ニ依リ五時迄休會ニ決ス時ニ四時四十分

□午後ノ議事(其二)

- 一、議長着席
- 二、酒井教師ハ統計表中「中絶者」ノ意義ヲ一定スルノ動議ヲ提出ス
- 三、和田教師ノ動議ニ依リ「中絶者」トハ其土地ニ住スルト否トニ關ラズ信徒ノ義務ヲ盡サバル者ヲ云フヲ正當ト認ムル事ニ決ス
- 四、區劃委員報告提出
- 五、大竹教師ノ動議ニ依リ委員再附托ニ決ス
- 六、レーマン教師ハ静岡及横濱部ノミツシヨニ傳道區中區劃委員報告中ニ記載サレタル個所ヲ年會ノ權内ニ提供ス
- 七、大竹教師ノ動議ニ依リ右ニ關シ調査委員三名ヲ選ビ調査報告セシムル事ニ決ス
- 八、議長ハ該委員ニ田村、和田、兩教師木村總代ヲ指命セリ
- 九、和田教師ノ動議ニ依リ八時迄休會ニ決ス時ニ六時半

□夜ノ議事

- 一、午後八時議長着席
- 二、ミツシヨニ傳道區一部移移管ニ關スル委員報告提出受入ル、事ニ決ス(第廿七號)
- 三、和田會計ノ動議ニ依リ今晚一宿スル必要アル者ニハ金壹圓宛支給スル事ニ決ス
- 四、區劃委員報告提出受入ル、事ニ決ス(第廿八號)
- 五、小山傳道調査委員報告提出(第廿九號)
- 六、大儀見教師ノ動議ニ依リ小山傳道ハ教會ヲ設立スルノ見込アル者トシテ繼續セラレン事ヲミツシヨニ推薦スル事ニ決ス

- 七、議長ハ客員制度調査委員ニ酒井、水野、大竹ノ三教師ヲ指命ス
- 八、名古屋第二總代ハ明年會ヲ招待セラレタリ受入ル、事ニ決ス
- 九、小泉攝教師ノ動議ニ依リ小泉要教師ヲシテ年會ヲ代表シ田村教師及江尻教會ニ謝意ヲ述ベシムル事ニ決ス
- 一〇、田村教師ノ答辭アリ
- 一一、議長ハ大儀見教師ニ代ツテ着席セシメ
- 一二、任命委員報告ヲ提出ス
- 一三、田村教師ノ異議アリテ委員再附托ニ決ス
- 一四、任命委員報告再提出(第三十號)
- 一五、小泉攝教師ノ動議ニ依リ受入ル、事ニ決ス
- 一六、年會長復席
- 一七、一同讚美歌第二百七十五番ヲ唱ヒ酒井教師及ビ木村總代ノ祈ヲ以テ閉會時ニ午後九時半

### 第廿七回日本美普宣教會ニ與フル書

自由ト文化ノ防禦ヲ目的トスル世界ノ奮起ト犠牲ト苦痛ノ真中ニ、吾等基督者ノ勤勞モ亦天父ノ指定ニ依ルモノニシテ、其努メテ傳ヘントスル基督教ハ、即チ現下ノ世界的諸問題ノ正當ナル解決者タルコトヲ回想スルハ、頗ル快心ノ事ナリトス。而シテ茲ニ日本宣教會第廿七回開會ニ當リ基督者ノ挨拶ヲ述ベ、獎勵ノ辭令ヲ寄スルハ吾ガ傳道會ノ殊ニ欣幸トスル所ナリ。

傳道會ハ大ナル興味ト満足トヲ以テ貴年會ノ奮闘ヲ注意シタリキ、而シテ名古屋小山熱田及ビ其他ノ所ニ於ケル十字架ノ著シキ勝利ヲ喜ビ且ツ是等ノ勝利ハ纏テ來ラントスル大信仰復活ノ前兆タランコトヲ祈ルモノナリ。斯ノ如キ勝利ハ教役者タルト普通信徒タルト間ハズ共ニ授ケラレタル貴キ使命ノ實行ニ力ヲ與フルノミナラズ、又實ニ神ハ救靈ノ事業ニ捧ゲラレタル時間ト才能ト精力トヲ惠ミ給フコトヲ明確ニスルモノナリ。然レバ人生ト永生ト事實ニ冷淡ニシテ恩寵鴻大ナル神ノ善キ執事タル職務ヲ顧ミザル基督者程憐ムベキハナカルベシ。

傳道會ハ爰ニ新ニ貴年會各員ニ對シ、誠實ナル敬意ヲ表スルト共ニ神國建設ニ於ケル其成功ヲ祈ラント欲スルモノナリ、而シテ貴年會ガ即チ全世界ニ於ケル神ノ大軍ノ一部隊ニシテ貴年會ノ成功ニ即チ主基督ノ御業ノ進歩ニ對シ、獨特ノ貢獻ヲナセルモノナルハ吾ガ傳道會ノ信ジテ疑ハザル所ナリ。加之貴年會ガ常ニ吾ガ美普教會ノ教義ト殊ニ他ノメソヂスト派ト異ナル吾教會政治トニ忠誠ナリシハ親シク傳道會ノ認ムル所ナリ。願フニ吾教會政治ノ原則ガ、世界各國民ノ思想ト計畫トヲ指導シツ、アル蓋シ今日ノ如キハアラザルベシ、此時ニ乘シ吾ガ教會ガ益々其努力ヲ増大シ殊ニ吾等ノ親愛スル日本ニ於テ、大ニ發展センコト是レ傳道會ガ貴年會ト共ニ熱望スル所ナリ。

吾等ハ傳道會全体(其日本ニ於ケル代表者ヲ含ム)トシテ貴年會ニ對シ最モ親愛ナル感情ヲ有シ、又

其凡テノ努力ハ貴年會ノ最モ高キ幸福ト安固不易ノ基礎ノ上ニ貴年會ノ事業ヲ發展セシメントメ費サ  
ルベキヲ明言ス。

傳道會ハ其力ニ應ズル凡テノ援助ヲ貴年會ニ與フベシ、而シテ更ラニ大ナル努力ヲ鼓吹セントスル希  
望ヲ以テ一千九百十九年々會々期ヲ始メトシ、自ラ年會長ヲ選舉スル權能ヲ貴年會ニ授ク、以テ貴年  
會ノ責務ガ愈々増大サレシヲ識ルベシ。其一千九百十九年ヨリト期限セシハ從來ノ方法ニ從ヒ、既ニ一  
千九百十七年三月ノ貴年會々期ニ於テ年會長候補者二名ノ選舉アリ稻沼鑄代太教師ハ一千九百十八年  
ヨリ一千九百十九年ニ至ル年會長タル指令ヲ受ケ居レバナリ。

年會長ハ三年以上引續キ其職ニ撰マル、コトヲ得ズ、是レ年會長職務規定中ノ新條項ニシテ、其良果  
ハ吾等ノ信ジテ疑ハザル所ナリ、而シテ年會長ハ、又一教會ノ牧師タルベク、同時ニ年會内ノ各教會  
ヲ訪問シ、以テ適當ナル援助ト獎勵ヲ與ヘ、尙ホ且ツ自ラノ牧スル教會ノ事業ニ損失ナカルベキヲ期  
セザルベカラズ。

吾等ハ又左ノ事實ニ貴年會ノ注意ヲ促サント欲スルモノナリ、即チ先ヅ年會長ノ權能義務及ビ其他其  
職務ニ關スルコトハ、吾ガ教會條例ノ明カニ示ス所ナルコトナリ、固ヨリ外國宣教年會ニ於テ諸種ノ特  
例アルハ言ヲマタズ次ニ吾ガ教會ハ教役者ト普通信徒ト同等權利ヲ認メ又教役者間ニ於テハ唯ダーツ  
ノ階級ヲ認ムルモノナレバ、吾ガ年會長ノ權能ト彼ノ監督タルモノ、權能トノ間ニハ、著シキ差異ア  
ルコトナリ、而シテ此事實ハ屢々不明ニ付セラレタルコトナリシガ如シ。

吾等ハ又吾ガ傳道會ハ其教會方トシテ巡回制度ヲ可トスル旨ヲ諸君ニ傳フル任務ヲ有スルモノナリ、  
願フニ此旨タルヤ巡回制度ガメソヂスト派發達ノ重要ナル原因ヲナセルニ基ヒセルノミナラズ、又吾  
教會條例中巡回制度ニ抵觸スル規則ハ之ヲ制定スルヲ得ズトノ明文ニ因ルモノナリ、且又此制度ヲ採  
用セザル他派ニ於テモ長期ノ教會ハ其數ニ於テ減少スル傾向ヲ示シツ、アルナリ、而シテ吾ガ傳道會

ハ其外國傳道地ニ於テ此制度ノ十全ナル實行ヲ期シ長期ノ教會ハ特ニ重要ナル理由アラザル限り、之  
ガ廢止ヲ見ント欲スルモノナリ、吾等ハ日本宣教年會ガ最大良果ヲ結ブモノト信ゼラル、此一般的原  
則ヲ懇ロニ固守センコトヲ希望ス。

終リニ傳道會ハ貴年會組織以來吾ガ傳道會トノ間ニ於ケル最モ親密ナル關係ニ満足シ、且ツ貴年會ガ  
傳道會ノ傳道發展策ニ對スル誠實ナル協同的精神ヲ表示セシヲ感謝シ、又是迄傳道會ハ常ニ貴年會ノ  
職務上ノ行爲ヲ認諾シ得タルヲ喜ビ、而シテ斯ノ如ク過去ニ於テ吾等ノ協力的事業ヲ飾リシ相互的信  
任ト援助トハ將來ニ於テモ永ク吾等ノ間ニ繼續サレンコトヲ熱望ス。

希クハ聖靈普ク貴年會ノ上ニ降り、其會期ヲ樂シカラシメ有益ナラシメ以テ今後ノ活動ヲ旺ナラシメ  
給ハンコトヲ

兄弟よ爾等の徳を建て且つ凡ての聖められし者の中に於て業を爾等に與ふる能ある神およ

ひ其恩恵の道に今われ爾等を委ぬ（使傳第二十章卅二節）

主降生一千九百十八年二月八日

北米メリーランド州ボルチモール市ニテ

委員

フレッド、シー、クライン  
ローラント、ワッツ

美普教會日本宣教年會々長及年會議員各位

大正七年六月二十一日印刷  
大正七年六月二十一日發行

神奈川縣中郡平塚町新宿千七百二十二番地

編發 兼行 者兼 水野重吉

神奈川縣中郡平塚町新宿千三百八十八番地

印刷者 高瀬八百八

神奈川縣中郡平塚町新宿千三百八十八番地

印刷所 高瀬活版印刷所

電話平塚五十八番

## 諸報告

### (第一號) 年會長報告

敬愛スル教役者及信徒總代諸君

大正六年度モ亦流水ノ如ク忽チ經過シテ本は茲ニ第二十七回年會ヲ開會スルニ至レリ、諸君ト共ニ此一堂内ニ於テ天父ノ聖前ニ相會シ數日ニ涉リ委託セラレタル神ノ御事業ニ付キ吾人ノ働キタル跡ヲ顧ミ將來ニ於ケル之カ計畫ヲ協議シ且ツ神及キリストヲ愛スル愛ヲ吾人相互ノ間ニ養フヘキ好機會ノ與ヘラレタル事ハ實ニ感謝ノ至リナリ、

### 悲惨ナル世界戰爭

大正三年八月火蓋ヲ切リシ歐洲戰爭ハ本年度ニ於テ米國及支那ノ參加ニ由リテ其關係範圍愈々擴大シ今ヤ歐洲戰爭ハ一轉シテ實ニ世界戰爭トナレリ。殊ニ米國ノ參戰ト露國ノ革命トハ却テ戰爭ニ一層ノ燃料ヲ加フル事トナリテ戰火ハ倍々猛烈ナラントス、若シ此勢ニテ進マンカ、戰亂ハ極東及太平洋ニ及バン、而シテ、我邦亦危險ノ状態ニ遭遇スル怖ナシトセス、戰雲將ニ世界ヲ掩ハン勢ナリ、歐米ノ基督教會其數決シテ少カラザルニ戰端開始以來既ニ四星霜ナルニ未タ曾テ戰爭停止ノ聲ヲ舉クルモノナク、大魔王其無數ノ麾下ヲ指揮シテ跋扈跳梁ヲ極ムルニ似タリ、世界ニ於ケル四億ノ基督信徒之ヲ防遏スル信仰ノ力ナキ乎

然レトモ戰鬪ハ永久ニ續クモノニアラス、早晚終熄スル事ナルヘシ、否隱レタルニ視給フ、我全能

ノ神何時迄之ヲ忍ヒ給ハン、必ズ之ヲ廢止シ給フヘシ、而シテ此ノ戰爭ノ終熄ト共ニ物質本位ノ舊世界ハ廢滅シテ（怪鳥フエニックスノ其ナラデ）王者ノ王、君ノ君ナルキリストノ上ニ靈的新天地實現ノ曙光ノ顯レン事吾人ノ切ニ祈ル處ナリ。

吾人ハ斯ク信シテ希望スルガ故ニ決シテ袖手傍觀スヘキニアラス、世界平和ノタメ、神國實現ノタメニ大ニ祈ラサルヘカラス、予ハ本年々會開期中特ニ時日ヲ定メテ戰爭終熄、世界平和ノタメニ特別ニ大祈禱會ノ催サレン事ヲ希望スル者也。

### 我國ノ現狀

歐羅巴戰爭ハ物質的ニ我國ヲ富シタレトモ精神的ニ我國民ヲ一層墮落セシメタリトノ評アリ、或ハ然ラン、貿易業者、船舶業者、工業者中ニ數多ノ俄分限者ヲ起シ、多大ノ輸出品ノ需要ハ諸工場ノ擴張或ハ勃興トナリ當事者及其ニ關係アル多數ノ勞働者ノ懷ヲ肥シタレトモ、物價ノ騰貴甚シキタメ一方ニ於テハ無數ノ窮民ヲ生シ東京市内ニ於テ既ニ十三万人ノ生活不可能者ヲ見ルニ至レリ、而シテ富者ハ淫シ易ク貧者ハ恥ヲ忘ル、寒心スヘキ現象ニアラスヤ、然ルニ要路爲政者ノ不眞面目ナル、官海教有家ノ頑固狹量ナル事依然トシテ舊ノ如ク、其他社會ノ中堅トナリ民衆ノ指導者タルヘキ有識階級ノ人士モ社會狀態ノ變調ト思想界ノ混亂ノ渦中ニ投セラレテ何ノ確信モナク何ノ定見モナク徒ラニ時ノ流ヲ眺ムル様ナリ、戰雲何時霽ルヘクモ見エサレトモ、幸ニ歐洲戰爭ノ災禍ヲ是以上ニ被ムル事ナシトスルモ戰後ニ來ルヘキ經濟戰ノ折衝ハ我國ニ取リテハ實ニ容易ナラサル事ナルヘシ、吾人ハ斯ル時機ニ於テ大ニ國民ノ靈の覺醒ヲ叫ビ、過去ニ於ケル特殊ノ歴史ヲ有スル金匱無缺ノ國柄ノ誇リノ如キハ恰カモユタヤ人カ其先祖ニアフラハムアリシヲ誇リシト同様決シテ我國將來ノ安寧幸福ヲ保証スルモノニアラザル事ヲ教ヘ、此際上下舉ツテ麻ヲ着灰ヲ被リテ眞ノ神ニ歸依シ奉リ千代ノ磐ナルキリストノ上ニ永遠ニ榮エ行ク國家ヲ建ツルヘク警告セスンバアルベカラザルナリ。

### 本年度教勢一斑

世界宣教歴史中我邦ノ宣教歴史ハ恐ラク他ニ類例ナキ特殊ノモノナルヘシ、古キ固有ノ歴史ヲ有スルト共ニ長ク支那及印度文化ヲ吸收シテ強キ先入的思想ヲ有スル國民ナルガ故ニ單純ニ基督ノ福音ヲ受ケ入ル事甚タ困難ナリ、否單純ニ之ヲ受ケ入レサルニアラサレトモ單純ニ之ヲ受クル迄ニハ多少複雑ナル研究ヲ經タル上ナラテハ能ハス、之レ傳道ノ困難ナル一理由ナリトス、何レノ教會モ必死ノ努力ヲ以テ傳道ニ從事シ居レトモ根本的教化ノ實ヲ舉クル事容易ナラサルカ如シ。

然シナカラ近年我邦大教派教會即チ組合、日本基督、日本メソヂスト教會等ノ傳道の活動ハ實ニ目醒シキモノニテ着々多大ノ効果ヲ舉ケツ、アル勢ナリ、例之ハ組合教會ノ如キハ昨年度迄ハ教會同盟大會ヘ二十五名ノ代員ヲ出席セシムル資格ヲ有セシニ本年度大會ニハ三十二名ノ代員ヲ出席セシムル資格ヲ有スルニ至リ日本第一ノ大教會トナレリ、代員七名ノ増加ハ本年度ニ於テ信徒ノ増員實ニ七千餘名ナル事ヲ示スモノナリ、日本メソヂスト教會モ是迄同大會ニ十二名ノ代員ヲ出席セシメシニ本年度大會ニハ十七名ノ代員ヲ出スニ至レリ之亦本年度中ニ五千餘名ノ増員ヲ示スモノナリ、何レモ多數ノ人員ト多額ノ資金トカ信仰ニ由リテ活用セラレタル結果ニ外ナラサルナリ、今日ノ時代ニ於テハ人ト金ト信仰ト此等三者揃ハサレハ教會ノ事業モ亦顯著ナル發展ヲ得ル能ハサルナリ。

又近年其形體ニ於テ著敷發展ヲ示セルハ元ミツシヨ、スクールト稱シタル基督教主義學校ナリ、一方巍然タル大教會堂ノ出現ト共ニ他方基督教主義學校ノ隆昌ハ我國ニ於ケル基督教ノ勢力ノ増大ヲ示スモノトシテ甚タ喜フヘキ次第ナレトモ教會ノ軟化モ亦明白ナル事實ニテ聖俗ノ境界線漸ク不明瞭ナラントスル事ニ付キテハ教界ノ先輩モ之ヲ認メテ憂慮スル處ナルト同時ニ基督教主義學校ノ設備

ノ整頓ト生徒ノ増加ト智的教育ノ進歩等ニ反比例シテ宗教的空氣ノ以前ニ比シテ愈々稀薄ニ成リ行ク  
恐レアル事モ亦事實ナリ昨年十月東京ニ於テ開カレシ日本繼續委員大會ノ席上高徳君子ノ稱アル東北  
學院長シユネーダ博士モ其演說中此点ニ論及シテ肯定的意見ヲ述ヘラレタルヤニ記憶セリ、以上二点  
ハ又吾人ノ看過スヘカラサル處ノモノナリ、

昨年七月中旬御殿場ニ開カレタル全國協同傳道大會ハ豫期以上ノ盛會ニテ來會者約三百名、同大會  
ニ於テ決議セラレタル事ハ過去三年間ノ全國協同傳道ニ對スル追擊的繼續傳道トシテ全國主要都市中  
十一ヶ所ニ於テ九月ヨリ向フ一ケ年間特別集會ヲ催ス事及此種ノ大會ヲ三年後ニ於テ再ヒ開會スル事  
等ナリキ、

又本年度ノ教勢ヲ考フル上ニ於テ看過スヘカラサル一現象ハ金森通倫氏ノ傳道ナリ、信仰復活後ノ  
同氏ノ傳道振ハ實ニ可驚勢ニテ到ル處ニ多數ノ改悔者ヲ出セル事我邦基督教宣教開始以來未曾ヲ見サ  
ル現象ナリ、吾人ハ同氏ノ健在ト活動ノタメニ神ノ祝福ヲ切ニ祈ルモノナリ、而シテ斯ノ如キ多數ノ  
改悔者ノ起ルニ付キテモ彼等ヲ收容シ且ツ之ニ教養ヲ施スヘキ唯一ノ場所ナル現在教會ノ内部ニ純宗  
教的生命ノ今一層充實センコトヲ希望セサルヲ得サルナリ。

### 教會同盟

我教會同盟ノ本年度ニ於ケル事業ノ主要ナルモノ左ノ如シ

- (1) 大正六年四月十日東京神田青年會館ニ於テ第六回大會ヲ開キシ事
- (2) 同十月二十六日日本繼續委員ヨリ決議文ノ通牒ニ接シ之ニ贊同ノ意ヲ表シ全國諸教會ニ通告シタ  
ルコト其決議文ハ左ノ如シ  
基督者ハ基督者ト結婚スヘキモノナル事ヲ唱道シ基督教夫婦ノ道ヲ發揚スルハ今日ノ急務ナリ

日本繼續委員ハ此旨ヲ諸教會ニ通告スル事ヲ決議ス、

- (3) 同十月三十一日ルーテル宗教改革四百年紀念ヲ東京ニ催シ其席上ニ於テ宣言書ヲ發布シ之ヲ全國  
諸教會ニ頒布セリ、
- (4) 初週祈禱表ノ配布例年ノ如シ
- (5) 同十二月十八日聯合軍慰問部ノ事業助成ノ依頼狀ヲ諸教會ニ發送セリ、
- (6) 大正七年三月中神戸、大坂、京都ニ於テ本同盟主催ノ演說ヲ催シ宣言書ノ主意貫徹ニ盡力セリ

### 本年度ノ我教會

本年度モ十八個ノ我教會ヲ訪問シテ一層其狀態ヲ了解スル事ヲ得タリ、靈的事業ハ他ノ社會事業ト異  
ナリテ短日月ノ間ニ顯著ナル發展ヲ期スル事ヲ得サルナリ、二三教會ノ頗ル好況ニ向ヘルアルモ全体  
ヨリ觀察シ前年度ニ比シ格段ノ進歩アリシトモ見エス、サレト目ニ見エサル處ニ目ニ見ル事ヲ得サル  
幾何カノ進歩發達アリシ事ハ又吾人ノ信シテ疑ハサル處ナリ何レニシテモ貧弱ナル小教會ヲ填場トシ  
テ内部ノ教養ニ外部ノ傳道ニ奮闘努力セル同勞者ノ心勞及彼等ヲ輔翼シテ教會ノ維持及發展ニ盡瘁セ  
ル教會役員及其他ノ配慮ハ實ニ之ヲ多トセサルヘカラス、日本美普教會既ニ三十年ノ歴史ヲ有スルモ  
實際ノ狀態ハ猶創業ノ有様ニテ基礎未タ堅固ナラス非常ノ努力ヲ要スル元ヨリ其處ナリ。

大正五年度ト本年度トノ教勢ヲ二三點ニ付キ數字ニテ比較センニ前年度ニ於ケル日曜禮拜出席者平  
均數二十一人、一分献金總額四、二八一、六二五大人受洗者數一三四人、小人受洗者數三二人、正會員  
數一、二六七人、又本年度ノ日曜禮拜出席平均數二十人、献金總額四、二三七、三六五大人受洗者數一五  
三人小人受洗者數一八人、正會員數一、三八六人  
依之觀之ニ本年度ハ日曜禮拜出席者平均數ニ於テ一人一分ヲ減シ献金額ニ於テ四四、二六〇ヲ減シ大



人受洗者數ニ於テハ一九人ヲ増シ小兒受洗者數ニ於テ一四ヲ減シ正會員數ニ於テ一九人ヲ増シタル譯ナリ尙參考ノタメニ福音及同胞教會ノ統計ニ付キ二三点ヲ擧ケンニ福音教會本年度ノ會員數一、三九三名大人受洗者數一〇七人、小兒受洗者數四人獻金額五、六八四、四〇〇、同胞教會本年度ノ正會員一、三七五人、大人受洗者數一一九人小兒同五人日曜禮拜出席者平均數一五人獻金額六、一六七、二六一ナリ、殊ニ後者即チ同胞教會ハ當教會ノ如キ教育機關ヲ有セス又本年漸ク第十八回目ノ年會ヲ開クニ至リシ事ナレトモ既ニ十九個ノ教會ヲ有シ着々進歩發展ノ模様ナリ。

### 交誼代表員

昨年五月三日ヨリ東京築地ニ開カレタル福音教會年會へハ畑教師當教會ヲ代表シ出席好意ヲ傳ヘラレ本年三月二十一日ヨリ同所ニ於テ開カレタル年會へハ和國教師當教會ヲ代表シテ訪問セラレ、又同本月二十二日ヨリ東京原宿ニ開カレタル同胞教會へハ予自ラ出席シテ當教會ノ好意ヲ傳ヘタリ。

### 異動及事故

昨年々會ニ於テ名古屋第二教會牧師ニ任セラレタル大竹牧師ハ同五月下旬ニ至リ種々ナル事情ノタメ其任ニ不堪辭職致度旨申越サレシニ由リ再三交渉ヲ重テ留任ヲ勸告セシモ事情ハ到底留任不可能ノ旨確答アリ且ツ教會モ其辭任ヲ承諾セシヲ以テ八月二日辭任ヲ許可シタリ、而シテ橫濱第三教會ノ要請ト大竹氏ノ希望トニ依リ九月一日附ヲ以テ同氏ヲ同教會牧師ニ任命セリ、大竹氏名古屋第二教會ヲ辭スルト共ニ名古屋部長ヲモ辭セラレシヲ以テ其後任ニ津川牧師ヲ任セシモ同氏ハ教會發展ノ爲ニ全力ヲ傾注シ部長ノ重任ニ當ルヘキ餘力ナシト固辭セラレシニ由リ終ニオービ教師ヲ部長ニ任命セリ伊勢原教會へハ年會後直チニ野澤謙吉氏ヲ主任傳道師トシテ派遣セリ、同氏ハ忠實ニ其任務ヲ盡シツ

、アリト思ヒシニ本月十九日附書面ヲ以テ病氣ノタメ且ツハ家事ノ都合上辭職致度旨申來リシニ由リ予ハ折返シ、若シ美善教會ニ於テ奉職スル意志ナケレハ不得止事ナレトモ然ラサレハ一時休職シテ靜養スル事トナシ辭職ノ儀ハ再考可相成回答致置キタルニ其後何等返信ナク、予去ル二十三日伊勢原ニ趣キ取調タルニ同氏ハ同教會へモ辭任届ヲ提出シ教會役員等ノ懇篤ナル留任ノ請望ヲ退ク本月二十一日何人ニモ往先ヲ語ラスシテ同所ヲ退去セリトノ事ナリキ。

年會員中高齡者ノ一人タリシ南小柿洲吾氏ハ健康不良ノタメ昨年々會ヨリ休職シ自宅ニ於テ專ラ靜養ニ勵メラレシカ昨年十月二十七日終ニ永眠セラレタリ、同二十九日白台ミッシオンニ於テ葬儀執行後雜司ヶ谷墓地ニ埋葬セリ。

病氣ノ爲昨年會ニ於テ休職セシ石田義一氏ハ昨年五月郷里ニ歸リ専心療養ニ努メ居レリ、昨年十一月予ノ訪問セシ時ハ稍々快方ノ容態ナリシカ昨今ハ重態ノ模様ナリ同情ニ不堪、當教會不幸ニシテ常ニ青年教役者ニ異動多ク爲ニ傳道上ニ受クル損失不尠、寔ニ痛嘆ノ至リナリ、嗚呼收穫物ハ多ク勞働者ハ少シ、有爲ノ青年教役者ノ多ク當教會ニ與ヘラレン事熱禱ニ不堪ナリ。

### 神學生養成問題

余ハ昨年會ニ於テモ報告中神學生養成問題ニ付キ諸君ノ注意ヲ促セシカ本年會ニ於テモ亦再ビ此点ニ付キ諸君ノ考慮ヲ促シ度事アリ、其ハ諸君ノ知ラル、如ク目下我年會ノ學生ハ四名ニシテ何レモ關西學院神學部ニアリ、然ルニ關西學院ノ所在地ノ神戸及其附近ニハ我教會ハ勿論ミッシオンノ傳道地モナシ、故ニ彼等ハ在學五年間我教會ニ接觸スル機會トテハ僅ニ夏期二ヶ月夏期傳道ノ場合ニ過キス、彼等ノ平素ノ生活狀態ニ付キテハ年會員中誰モ之ヲ知ル者ナシ、勿論彼等ハ學校當局者ノ親切ナル教授ト監督ノ下ニ修學致シ居ルニ相違ナキモ將來我教會ニ於ケル忠實ナル教役者タルヲ期待スルニハ目

下ノ状態ハ神學生教育ニ付キ適當ナル方法ト思ハレス、又親切ナル處置ニモアラサルヘシ、予ハ敢テ今茲ニ之レカ改善ノ方法ヲ具体的ニ提出セサルヘシ、併シ何レカノ方法ニ由リ彼等ヲシテ今ヨリ常ニ我教會及年會員ト接觸スル機會ヲ得シメ教會ト親ム道ヲ設クル必要ナキ乎、特ニ年會員諸君ノ考慮ヲ促ス次第ナリ。

右謹而報告ス

日本美普教會年會長 稻沼鑄代太

(第一號) 禮拜委員報告

三月三十一日午後七時江尻教會ニ於テ説教者未定ノ所蒲原教會ト協議ノ上高橋信一氏ニ乞ヒ之ヲ定ム又同ク蒲原教會説教者ハ境野周次郎氏ニ請フコト、セリ、委員長 小泉 攝

(第二號) 年會長報告調查委員報告

我等ハ年會長報告ヲ調査シ修正ヲ加ヘタルモ年會長ノ職務上ニ關シテハ正當ナルモノト認ム、但シ神學生養成問題ニ就テハ神學生教育委員之ヲ考究セラレン事ヲ推薦ス 委員長 酒井長吉

(第四號) 第廿六回年會々計報告

入金 一金五百圓八拾七錢也

内譯

- 金六拾六圓參拾參錢
- 金壹百〇參圓拾貳錢
- 金貳拾貳圓〇六錢
- 金參百九圓參拾六錢
- 支 出
- 一金五百六拾壹圓六拾六錢也
- 内譯
- 金參百七拾九圓四拾七錢
- 金四拾圓五拾七錢
- 金貳拾貳圓〇六錢
- 金拾五圓
- 金貳拾七圓貳拾六錢
- 金貳拾圓
- 金壹圓六拾五錢
- 金參圓五拾錢
- 金五圓
- 金四圓
- 金六圓拾五錢
- 金貳拾貳圓七拾錢

前年度繰越金 教會負擔額 神學生教育費 ミツシヨシ負擔額

年會員俸代並日常 議事録其他ノ印刷費及書記費用 神學生教育費 教會同盟負擔額 歷史編纂費 新渡戸博士ヘノ謝禮 接書二冊代費 聖書真代費 會場費 年會規則改正費 恩給法並表彰式調査費

南小柿牧師永眠見舞  
名簿改正費  
按手禮證狀並筆紙代  
郵稅並爲替料

金五圓  
金八圓〇七錢  
金參拾五錢  
金九拾錢  
差引不足金六拾圓七拾九錢也  
右ノ通謹ンテ報告ス

會計委員 和田 秀 豊

(第五號) 歴史編纂委員報告

大正三年三月第廿三回年會ニ於テ小泉攝ハ日本美普教會歴史編纂員トシテ任命セラレ爾來三箇年間同  
編纂ニ從事シタリシガ同六年三月第二十六回年會ニ於テ歴史速成ノ儀起リ年會ハ畑純三、酒井長吉ノ  
二氏ヲ委員ニ加ヘタリ委員等ハ互ニ協議ノ上別綴ノ通り編纂ヲ完結セリ、尙内容ノ不備ト編纂法ノ不  
充分ナルニ就テハ追テ増補ト訂正トヲ期スルアラント欲ス  
右報告候也

委員長 小 泉 攝

(第六號) 教會名簿改正委員報告

委員等ハ他教會使用ノ名簿ヲモ參考トシテ蒐集シ之ヲ比較シテ最モ細密ニ調査ヲ遂ケシ處曩キニ我教  
會ハ修正補足セシ名簿ヲ調製シ或ハ既ニ使用セラレツ、アルヲ發見シタレハ之ヲ以テ足レリト認ム  
右報告候也

委員長 今 田 強

(第七號) 野ノ聲編輯委員報告

委員等ハ過ル一ケ年間野ノ聲編輯ニ從事シ爲シ得ル限リ努力セシモ著シキ進歩ナキヲ憾ミトス  
從來ミツシヨシヨシヨリ支出セシ補助金ハ本年度限リ停止シ新年度ヨリハ年會費ヨリ支出サレタキ旨ミツ  
シヨシノ通牒ニ接セリ、ヨツテ本年會ハ熟議ノ上ニテ本紙今後ノ方針ニツキテ考究セラレン事ヲ乞フ  
右報告候也

委員長 酒 井 長 吉

猶會計報告ハ次ノ如シ

野ノ聲會計報告

自大正六年三月  
至同七年二月

收 入  
一金百參拾八圓參拾參錢也  
内 譯  
一金百貳拾圓也  
支 出  
一金拾八圓參拾參錢也  
一金百四拾八圓拾七錢五厘也  
内 譯  
一金百貳拾七圓九拾錢也

總 額  
補 助 金  
賣 上 代 金  
總 額  
印 刷 費  
十一

- 一金拾壹圓八拾九錢也
- 一金五圓參拾參錢也
- 一金九拾五錢也
- 一金貳圓拾錢五厘也
- 差引金九圓八拾四錢五厘也

右報告候也  
大正七年三月廿日

野ノ聲會計 今 田 強

十二  
郵 便 紙 費  
原 稿 用 紙 費  
雜 封 用 紙 費  
前 年 度 不 足  
不 足

(第八號) 年會規則修正委員報告

我等委員ハ昨年十一月静岡ニ會台シ日本美普教會規則修正案別紙ノ通り調製シ之ヲ各教會及牧師ニ配布セリ  
右報告候也

(第九號) 教役者恩給制度調査委員報告

一、吾等委員ハ昨年度中諸教派ニ於ケル恩給制度ヲ調査シ是等ヲ參考トシテ別ニ吾教會ノ教役者恩給規定ナルモノ、原案ヲ起草セリ(別印刷物ノ通り)  
一、該原案ハ其儘本年會議員ニ於テ之ヲ受入レ向フ一ケ年間審査考究シ來年度年會ニ於テ修正ノ上決定サレン事ヲ希望ス

委員長 水野重吉

一、審査考究ノ結果ヲ取り纏メ又其他ノ事務ニ當ラセンタメ向フ一ケ年間該委員ノ任ヲ繼續セシメラ  
レン事ヲ希望ス

委員長 木村克己

(第十號) 教役者職務調査委員報告

我儕委員ハ教役者諸氏ノ報告ヲ調査シテ之ヲ正確ナルモノト認ム

委員長 和田秀豊

(第十一號) 年會員旅費滞在費支給規定委員報告

昨年會ニ於シ舉グラレタル我等委員ハ協議ノ結果左ノ如ク支給規定ヲ作成セシ事ヲ報告ス

一、旅費  
 1、汽車賃 三等 但シ百哩以上ハ急行稅ヲモ支給ス  
 2、汽船賃 中等  
 3、車馬賃 實費  
 4、年會ノ協議ニヨリ出張ノ場合ハ實費ヲ支給ス

二、滞在費  
 1、出席日數ニ旅行日數ヲ加算シ一日金壹圓五拾錢ノ割合ヲ以テ支給ス  
 但シ一日ヲ午前九時ヨリ翌朝九時迄トス



費途ヲ明カナラシムルコトヲ要ス  
右報告候也

委員長 田村 徳

十六

(第十五號) 日曜學校實行委員報告

委員等ハ過去一ケ年間熟考ノ結果將來ニ於ケル我教會日曜學校事業發展ノタメニ左ノ規則ニ基キテ日本美普教會日曜學校局ノ設立セラレンコトヲ薦ム  
但シ婦人傳道會社ノ經營ニ關ハル該事業トノ聯絡ハ他日ヲ待チテ定ムルコトトス

委員長 赤石 義明

日本美普教會日曜學校委員會規則

第一條 目的

日本美普教會所屬日曜學校ノ事業ヲ統一シ其進步發展ヲ計ルコト

第二條 方法

一、教師及ビ職員養成ノ方法ヲ講スルコト  
二、日曜學校教科書、教師用參考書、教材、出版物、其他該事業ニ必要ナル一切ノモノヲ撰擇及紹介スルコト  
三、毎年一回日曜學校日ヲ定メ特ニ日曜學校事業ノ振起ヲ計リ之ガタメニ祈リ且ツ說教スルコト

第三條 組織

一、委員會ハ委員三名ヲ置キ互選ニヨリテ委員長一名、書記一名、會計一名ヲ選ブ

二、委員ノ任期ヲ一ケ年トシ毎年々會ニ於テ選舉スルモノトス

第四條 資金

一、各教會日曜學校ヨリ募集スル寄附金  
二、有志者ノ寄附金並ニ寄贈品  
三、事業ノ進捗ニヨリ年會ヨリ若干ノ補助ヲ仰グ

第五條 修正

本規則ハ年會出席議員過半數ノ賛成アル時ハ改正スルコトヲ得  
以上

第十六號 勤績表彰委員報告

吾等委員ハ左ノ事項ヲ協議セリ

一、紀念品贈呈費ヲ各教會有志ヨリ募集スルコト

(該寄附金ハ未ダ全ク收入済ニ至ラザレバ全豫約金收入ノ上年會議事録ニ發表ノ事)

一、紀念品ハ新舊約全書並ニ讚美歌各一冊尙ホ剩餘金ハ會員ノマ、贈呈スルコト

一、表彰式ノ順序ハ年會議事録ニ記入セラレンコトヲ希望ス

委員長 木村 克己

(第十七號) 學事調査委員報告

一、本員等ハ小泉、赤石、高橋ノ三教師試補ノ說教草稿及ビ羅馬書ニ關スル論文ヲ檢査セシニ其成績  
佳良ナリト認ム依テ四ケ年ノ年會學科ヲ修了セシモノト認ム

十七

- 一、飯田教師試補ハ第一年學科中、心理學、舊約總論ノ試験ニ良好ノ成績ヲ示セリ然レモ氏ハ組織神學ノ試験準備ヲ怠リ受験シ得ザリシヲ以テ本委員等ハ氏ガ次年度年會ニ於テ該學科（フ라운教授著基督教要義前半）ノミノ試験ヲ受クベキモノト認ム依テ氏ハ次年度年會ニ於テ二年ノ試験ヲ受クルコトヲ得ズ
- 一、尙又氏ハ路十一〇九節ニ基キ説教ヲ起草シ來年二月盡日迄ニ担任委員ヘ送附セララルベシ
- 一、年會長ノ管下ニ置カレタル野澤謙吉氏ハ年會長報告書ニアルガ如キ理由ヲ以テ當年會ニ關係ヲ有セザルモノト認ム
- 一、本委員等ハ教師試補小泉要太郎、赤石義明、高橋信一ノ三氏ニ來卅一日（聖日）午後聖餐式後按手禮ヲ授ケラレンコトヲ推薦ス

委員長 大儀見 元一郎

（第十八號）

我等委員ハ今回我ロ本美普教會教勢振興ノ目的ヲ以テ本年會ニ提供セラレタル傳道資金貳百圓ノ用途ニ關シ協議ノ結果之ヲ基金トシ別紙規則書ノ通り日本美普教會特別傳道委員會ヲ組織シ其目的ヲ達セントス

右報告候也

大正七年三月三十日

右委員長 木村 克己

日本美普教會特別傳道委員會規則

第一條 本會ハ日本美普教會ノ教勢振興ヲ計ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ年會ノ推舉ニ依ル委員七名ヲ以テ組織ス

第三條 本會ニ委員長一名書記一名會計二名ヲ置キ本委員會ニ於テ互選スルモノトス

第四條 毎年度ノ傳道方針ハ本委員會ニ於テ立案シ年會ノ協賛ヲ經テ實行スルモノトス

第五條 本會ノ資金ハ之ヲ特別傳道資金ト名ケ内外有志者ノ献金ヲ以テ之ニ充ツ

（第十九號） 神學生教育委員一部報告

吾等委員ハ諸案ヲ考究シ左ノ決議ヲナセリ

一、麻布教會ノ次田四郎神學生候補推薦取消請願ヲ許可スルコト

一、神學生伊藤興雄、津川圭一、杉浦儀一郎、福山須一ノ四名ハ良好ナル成績ヲ以テ關西學院ニ就學シツ、アリ

一、神戸市ニアル吾ガ教會員ヲ鳩合シ本年會又ハミツションニ屬セザル獨立ノ講義所ヲ設立シ神學生自ラ其主任トシテ働カントスル現神學生一同ノ希望ヲ可トセラレンコトヲ推薦ス

一、本科第三學年以上ノ神學生ヲ年會ニ出席セシメ以テ見學セシムルコトヲ推薦ス

委員長 リー、レーマン  
書記 木村 克己

（第二十號） 年會費分擔額調査委員報告

一金五百八拾圓四拾錢也

內 譯

大正七年度豫算額

一金百四拾貳圓九拾錢也

一金參百〇七圓也

一金四拾圓也

一金拾五圓也

一金拾九圓五拾錢也

一金貳拾七圓也

一金參拾圓

此分担額

一金四百參拾六圓〇五錢也

一金壹百四拾五圓參拾五錢也

(此教會費分擔額一人金拾九錢現在會員七百六拾八人)

### 各教會分擔額表

右委員長 木村 克己

旅費最低額ト認ムル静岡ヲ年  
 會開會地ト假定シト教役者十九  
 人、信徒總代大人分汽車賃及  
 車代但旅費規定ニ依ル急行券  
 ハ七年度ニ限リ支給セザル事  
 滞在費、教役者百十四日分、  
 信徒總代、九十日分、  
 年會議事録及其他印刷費併書  
 記費  
 教會同盟負擔額  
 神學生三人年會出席旅費  
 神學生滞在費十八日分  
 雜費  
 ミッション分擔額  
 教會分擔額

教會名稱	會員數	他行會員數	現在會員數	分擔金額
濱松教會	四一	一九	二二	四、一八
静岡教會	一〇三	六六	三七	七、〇三
江尻教會	五四	他行 中絶 三〇	二一	三、九九
蒲原教會	五二	二〇	三二	六、〇八
鷹岡教會	六一	五一	一〇	一、九〇
伊勢原教會	三九	九	三〇	五、七〇
平塚教會	四〇	一七	二三	四、三七
橫濱第三教會	一三二	五八	七四	一四、〇六
橫濱第二教會	一〇	五一	五九	一一、二一
橫濱第一教會	一三一	六三	六八	一一、九二
小石川教會	六七	他 中絶 一〇	四三	八、一七
淺草教會	三九	一一	二八	五、三二
麻布教會	九八	三九	五九	一一、二一



名古屋第一教會	一〇〇	六一	三九	七、四一
名古屋第二教會	二二二	五一	一七一	三二、四九
名古屋第三教會	三五	一〇	二五	四、七五
半田教會	二六	九	一七	三、二三
四日市教會	五一	四一	一〇	一、九〇
	一、四〇一	六三三	七六八	一四五、九二

(第廿一號) 米國傳道會社へ返書起筆委員報告

米國傳道會社ニ呈スル返書

吾ガ日本美普教會第廿七回年會ハ貴傳道會ヨリ懇切ナル辭令ニ接シ謹ンデ謝辭ヲ述ブ。  
 貴傳道會ガ本年々會組織以來之ニ與ヘラレタル親切ナル指導ト適當ナル援助トハ吾等本年會々員ノ深ク感銘スル所ナリ願フニ吾ガ年會歳ヲ重ヌル事二十有七正ニ漸ク壯年期ニ近ヅカントス而シテ未ダ自ラ起ツハ難シ然リト雖モ齡若シ茲ニ數歳ヲ加ヘナバ必ズヤ主ノ王國建設ノ聖業ニ對シ一個ノ有爲ナル團體タランハ吾等ノ深ク信ズル所ナリ希クハ貴傳道會之ヲ諒シ吾ガ年會ヲシテ健全ナル發達ヲ遂ゲシメラレン事ヲ終リニ貴傳道會ハ吾等ノ慈父ナリ吾等ハ貴傳道會ノ愛兒ナリ然シテ此親密ナル關係ハ將來益々深厚ナラン事ヲ切望ス  
 一千九百十八年四月一日 日本美普教會第二十七回年會々員一同

右ノ通り謹ンデ報告ス

米國傳道會へノ還辭起草委員 和田 秀 豊

(第廿二號) 憲法第四款第一條改譯委員報告

委員等ハ憲法第四款第一項中「書面ヲ以テ」ノ五字ヲ削リ他ハ從前ノ通りニテ可然ト決定致候

此段謹ンデ報告ス

委員長 稻沼 鑄 代 太

(第廿三號) 特別傳道委員報告

大正七年度特別傳道方針

- 一、本年度中ニ大規模ノ特別傳道四ヶ所其他數ヶ所ニ於テ小規模ノ特別傳道ヲ舉行スル事
- 二、一教會ノ特別傳道期間ハ約一週間ヲ豫定トス
- 三、此特別傳道ハ教會ノ内容ノ充實ト外部ニ對スル傳道門戶開拓ヲ期シ最善ノ方法ヲ本委員會ト其教會ト協議ノ上實行スル事
- 四、本年度中ニ本傳道舉行希望ノ教會ハ可成の速ニ本委員會ニ申込ミ本委員會ニ於テ適當ノ教會ヲ定ムル事

右報告ス

委員長 水野 重 吉  
 書記 高橋 信 一

(第廿四號) 樺太傳道委員報告

我等委員ハ既ニ大正六年報告セシ如ク資金調達ノ見込立タザルヲ以テ之ヲ中止シ特ニ委員ヲシテ寄附金豫約者ニ其旨ヲ通知シ且樺太出張旅費殘金拾六圓參拾六錢ハ年會々計ヘ交附セシメラレン事ヲ薦ム  
委員 長 大儀見 元一郎

(第廿五號) 野の聲經營法案

「野の聲」ハ我日本美普教會唯一ノ機關雜誌ナルヲ以テ最モ堅實ナル經營法ヲ確定シ其發展ヲ期センガ爲メ左ノ法案ヲ本年會ニ於テ可決セラレン事ヲ希望ス  
大正七年四月一日 野の聲委員長 高橋 信一

野の聲經營法

一金貳百圓也、  
內金百參拾參圓參拾貳錢也  
野の聲發行總計費  
金六拾六圓六拾八錢也  
ミッション補助額三分ノ二  
但シ維持會員ヲ募集シ其類教會分擔額ニ充タザル額ヲ各教會ノ分擔トスル事  
各教會分擔額三分ノ一

(第廿六號) 神學生教育委員一部報告

會計報告  
收入ノ部

イー、アイ、オービ

一金六百七拾八圓〇壹錢也  
一金貳拾圓七錢也  
合計金六百九拾八圓〇八錢也

ミッション、ヨリ  
年會會計

支出ノ部

一金六百參拾六圓也  
一金四拾五圓九拾九錢也  
一金拾五圓五拾八錢也  
一金四圓參拾四錢也  
合計金七百壹圓九拾壹錢也  
差引不足金參圓八拾參錢也

神學生四名分學費總額  
右四名用書籍費  
右四名旅費  
郵稅爲替料等

第廿七號 ミッション傳道區移管ニ關スル委員報告

吾等委員ハミッションノ提供ヲ喜ンデ受ケ入レ横濱靜岡間ニ於ケルミッション傳道區ヲ年會ニ移管セラレン事ヲ推薦ス  
但シ右移管ノミッションハ玉川、興津、岩淵、茅ヶ崎、成瀬、加島ノ各ミッション區トス

委員長 田村 徳

第廿八號 區劃委員報告

一、爾今俵澤、平野、玉川、横澤ヲ靜岡教會ニ加ヘテ靜岡巡回區ト稱スルコト  
一、平塚教會ニ茅ヶ崎、須賀、馬入ヲ加ヘ平塚巡回區ト稱スルコト

一、伊勢原教會ニ城島、成瀬、大山ヲ加ヘ伊勢原巡回區ト稱スルコト  
 一、鷹岡教會ニ二號、加島ヲ加ヘテ鷹岡巡回區ト稱スルコト  
 一、蒲原教會ニ由比、神澤、松野、内房、岩淵ヲ加ヘテ蒲原巡回區ト稱スルコト  
 一、江尻教會ニ興津、清水、魚町ヲ加ヘテ江尻巡回區ト稱スルコト  
 右報告候也

委員長 酒井 長吉

(第廿九號) 小山傳道調査委員報告

從來傳道セラレツ、アル小山町ノ傳道ハ將來教會ヲ組織スル見込アルモノトシテ引續キミッションニ於テ傳道セラレンコトヲ望ム  
 右報告候也

委員長 今田 強

(第三十號) 任命委員報告

▲東京部	和秀	和田秀豊
麻布教會	和田純三	小石川教會 稻沼鑄代太
淺草教會	濱部	部 長 酒井 長吉
▲第一教會	酒井 長吉	部 長 今田 強
▲第三教會	大竹 清	平塚教會 水野 重吉

伊勢原教會	未定	部 長 田村 德一
▲静岡部	宇佐美市平	濱松教會 高橋 信一
静岡教會	田村 德	鷹岡教會 小泉 攝
江尻教會	飯田 角藏	部 長 小泉 要太郎
蒲原教會	▲名古屋部	部 長 小泉 要太郎
▲第一教會	津川 彌久 茂	第二教會 小泉 要太郎
▲第三教會	未定	四日市教會 境野 周次郎
半田教會	近藤 優	

注意右教會任命ニ本年會ニ定メラレシ區劃委員ノ報告ニアル巡回區ヲモ含ムモノトス  
 ▲ミッション所屬

大儀見 元一郎	大塚 泉 彌	委員長 稻沼鑄代太
▲休職		
石田 義一	赤石 義明	
右報告ス		

□本年會ニ於ケル重要決議及改正事項

- 一、傳道師ヲ教師試補ト改稱スルコト (第二日午後ノ十三項)
- 二、教師試補志願者ノ資格 (同 十 四 項)
- 三、特別傳道ノ件 (第三日十一、十六項報告第十八)
- 四、憲法中ノ信徒總代選舉會ノ部ノ改譯 (第二日ノ午後十五項十六項)
- 五、憲法第一編第四款中ノ改譯 (第五日十二項及報告二十二號)
- 六、中絶者ニ關スル件 (第五日午後二、三項)
- 七、ミッション傳道地ノ移管 (第五日午後及報告廿九號)
- 八、次年度ノ年會開會地 (第五日 夜ノ 八 項)
- 九、傳道會ヨリノ親書 (年會長報告ノ前ニアリ)

ミッション所屬教役者任地及住所

任地	住	所	氏名
目白臺ミッション	東京市小石川區葛田豐川町參九番地ノ壹	濱田遊龜萬	濱田遊龜萬
訓盲院 同	東京市小石川區表町一〇九	大儀見元一郎	大儀見元一郎
小山 同	靜岡縣駿東郡小山	未定	未定
新居 同	遠州濱名郡新居町字泉町	中島治三郎	中島治三郎
内海 同	尾張國知多郡内海町西端九貳	松本萬里	松本萬里
龜崎 同	尾張國知多郡龜崎町字中ノ切七六	石崎貞作	石崎貞作
成岩 同		近藤優	近藤優
常滑 同	尾張國知多郡常滑町字瀨木	永友	永友
鳴海 同	尾張國愛知郡鳴海町字根古屋町參〇	志知信一	志知信一
山崎 同	尾張國愛知郡呼續町字千竈	田口乙四郎	田口乙四郎
熱田 同	名古屋市熱田東町字玉ノ井	本間常次郎	本間常次郎

瓦町 同	名古屋市東瓦町九八	武田 駒吉
桑名 同	伊勢國桑名町矢田町貳參	坂野 善太郎
富田 同		境野 周次郎

神學生

關西學院神學部 (第四年級)	伊藤 與雄	同	校 (第三年級)	杉浦 儀一郎
同	津川 圭一	同	校 (第二年級)	福山 順一

各學校長及宣教師

ミツシヨン會長	橫濱市日の出町參丁目八拾參	リ、レ、ローマン
橫濱英語專修學校長	同	同
名古屋學院々主	名古屋市南區熱田町玉ノ井	イ、アイ、オー、ビ
私立名古屋中學校長	名古屋市東區東芳野町貳拾八	木村 克己
私立同愛訓官院長	東京小石川區表町一〇九	大儀見 元一郎
私立橫濱英和女學校長	橫濱市蒔田町	ミス、オ、アイ、ハデス

信徒總代住所姓名

婦人宣教師	同	ミス、エツチ、イ、ステール
婦人宣教師	同	ミス、シエル、グルミル、ク
濱松常磐幼稚園長	濱松市元城町拾番地	ミス、エ、コーツ
名古屋堅磐幼稚園長	名古屋市外御器所村霧島園	ミス、エム、イ、ワ、サ、ヤマ、ス
教會	住所	氏名
麻布	東京麻布區霞町二十三	原田 朴哉
小石川	同小石川區同心町二十五	桐山 齋之助
淺草	本所區太平町一ノ一 (伊藤方)	岩田 秀三
橫濱第一	橫濱市本牧町一六四八	天野 辨藏
同第二	同三吉町四丁目參拾五	小池 常吉
同第三	長者町九丁目九十一	鈴木 貞三
平塚	神奈川縣平塚町新宿	肥後 幸吉

伊勢原	同中郡伊勢原町	岩田光平
静岡岡	静岡市鷹匠町一丁目	加藤清作
江尻	静岡縣江尻町美普教會内	岩崎敬吉
静岡岡	東海道富士驛前	林赤吉
蒲原	静岡縣蒲原町蒲原	青山太一郎
濱松	濱松市西高町	梁川健雄
名古屋第一	名古屋市中村大字榮長割一八八四ノ三	奥居卯平
同第二	同市東區東芳野二十八	木村克己
同第三	同市南區熱田新尾頭町三十三	渡會三郎
四日市	名古屋市東區東芳野一丁目十三	濱野眞
半田	愛知縣知多郡半田町荒古七十三	柿沼廣一

# 天普教會 統計表

大正六年度

(自大正五年四月至大正六年三月)

## 會及牧師

置	傳道開始年	教會組織年	牧師	同牧師年任數	牧師館住宅
ノ一三	明治三十二年	明治三十四年	和田秀豐	一五	東京市麻布區霞町二六
ノ一三	明治三十四年	明治三十六年	畑純三	七	東京市本所區新小梅町三八號
三五	明治三十九年	明治四十二年	稻沼鑄代太	二	東京市小石川區高田豐川町三五
〇	明治十三年	明治二十二年	酒井長吉	初年	教會同番地
	明治二十六年	明治二十八年	今田強	七	橫濱市西戶部一四二
	明治三十一年	明治三十三年	大竹清	二	橫濱市南太田二、一八三
	明治三十九年	大正五年	水野重吉	五	教會同番地
	明治三十七年	大正六年			

伊勢原	同中郡伊勢原町	岩田光平
静岡	静岡市鷹匠町一丁目	加藤清作
江尻	静岡縣江尻町美普教會内	岩崎敬吉
静岡	東海道富士驛前	林赤吉
蒲原	静岡縣蒲原町蒲原	青山太一郎
濱松	濱松市西高町	梁川健雄
名古屋第一	名古屋市中村大字榮長割一八八四ノ三	奥居卯平
同第二	同市東區東芳野二十八	木村克己
同第三	同市南區熱田新尾頭町三十三	渡會三郎
四日市	名古屋市中區東區東芳野一丁目十三	濱野真
半田	愛知縣知多郡半田町荒古七十三	柿沼廣一

# 日本美普教會 六年正統計表

(自大正五年四月 至大正六年三月)

## 一、教會及牧師

部	東	京	濱	靜	名	古	屋
名教	麻布	淺草	小石川	橫濱一	橫濱二	橫濱三	伊勢原
位	東京市麻布區霞町二五	東京市淺草區猿若町三ノ一三	東京市小石川區同心町二五	橫濱市本牧臺三〇二	橫濱市花咲町七ノ八四	橫濱市日の出町三ノ八〇	神奈川縣中郡平塚町新宿
置	傳道開始年	明治三十二年	明治三十四年	明治三十九年	明治三十七年	明治三十九年	明治三十七年
教會組織年	明治三十四年	明治三十六年	明治四十二年	明治三十二年	明治三十八年	明治三十八年	明治三十八年
牧師	和田秀三	稲沼純三	酒井長吉	今田強	大竹清	水野重吉	小泉攝
同牧師年數	一五	七	初年	七	二	五	一四
牧師館住宅	東京市麻布區霞町二六	東京市本所區新小梅町二六號	東京市小石川區高田豐川町二五	橫濱市西戶部一四二	橫濱市南太田二、一八三	橫濱市同番地	靜岡縣富士郡鷹岡村入山洲
同番地	名古屋市中區南長島町二ノ二	名古屋市中區長崎町四丁目	名古屋市中區橋町五ノ二三	愛知縣知多郡半田町字荒太	三重縣四日市沖ノ島		
明治二十年	明治三十八年	明治三十七年	明治三十九年	明治三十七年	明治三十九年	明治三十七年	明治三十七年
津川彌久茂	小泉要太郎	近藤優	境野周次郎	高橋信一	宇佐美市平	飯田角藏	飯田角藏
初年	初年	初年	初年	初年	初年	初年	初年
名古屋市中區長崎町四ノ五	名古屋市中區橋町五ノ二三	愛知縣知多郡半田町字荒太	三重縣四日市沖ノ島				
五	二	五	二	四	五	二	五
教會同番地	教會同番地	教會同番地	教會同番地	教會同番地	教會同番地	教會同番地	教會同番地







二、教會員數 (其二)

合 計	名 百 屋				靜 岡				濱 廣				京 東			部		
	四 日 市	半 田	名 三	名 二	名 一	濱 松	靜 岡	江 原	廣 岡	伊 勢 原	平 塚	橫 三	橫 二	橫 一	小 石 川	淺 草	麻 布	會 教
七五二	二六	二七	二〇	三三	四	一九	四三	三〇	二六	二六	二二	八〇	五九	四	四	二五	三	前年度名簿員數
五五七	二七	八	四	一九	四五	一六	五八	一八	二四	一六	一九	四九	五〇	八四	二五	八	五	年 中 增 減 員
九四〇	一	四	七	三	一	二					五	一		一	一			年 中 增 減 員
四〇	二	二	三		四	三	二			一	四	五	二	五	四	三		年 中 增 減 員
一																		年 中 增 減 員
一八	三	一	二		二	一						二		五	二			年 中 增 減 員
一五	一	一	一		二	一						二		五	二			年 中 增 減 員
二	四		一		一	一						二	一		一			年 中 增 減 員
三	二	一	一									五	三					年 中 增 減 員
二九		五			一	三						二	一	九	五	三		年 中 增 減 員
二〇		三				二						一	三	三	二	六		年 中 增 減 員
一三	一	一	一		一					二	一	二		二	二			年 中 增 減 員
六	一				一					二	一	一						年 中 增 減 員
四三九	五	九	一三	一五	二	九	四	八	一五	一	〇	四	五	二	二	四	二	現 在 名 簿 員
三七	五	八	一	一六	一七	三	三	三	一七	二	二	九	四	七	一	四	三	現 在 名 簿 員
三四七	二	〇	八	七	四	九	三	〇	四	五	八	三	九	三	五	一	六	現 在 名 簿 員
二四六	二	一	三	二	三	八	三	九	一	七	四	九	一	八	三	六	二	現 在 名 簿 員
三〇							三								七			現 在 名 簿 員
一〇							七								三			現 在 名 簿 員
一、三九九	五	二	六	三	四	四	一	〇	三	五	四	一	〇	一	三	六	六	計 數
九一	一		七	七		六	二	六				三	一			七		增 差 引
一四	二									三		一			四	四		減 引

Handwritten notes and data on the right side of the page, including a vertical title (其二) and various entries.









16789501234567896

計	屋古名										濱橫							部						
	富田	新道	成岩	山崎	桑名	瓦町	熱田	鳴海	常滑	武豐	龜崎	內海	新居	興津	由比	富士	鳴瀬	茅ヶ崎	本所	岩淵	玉山	小川	訓盲院	目白臺
所數	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
任命講義	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平均出席	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
拜夕拜及演說會	50	46	42	44	46	42	45	48	41	40	41	42	43	47	40	44	41	43	44	48	44	43	42	40
平均出席	32	31	28	30	32	28	30	33	28	27	28	29	30	34	28	32	29	31	32	36	32	31	30	28
新會																								
平均出席																								
日曜	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
校員數	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
教師在籍數	7	7	9	10	11	10	11	12	11	10	11	12	13	15	14	13	14	15	16	18	16	15	14	13
開校數	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
平均出席	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
共勵會	3																							
平均出席	3																							
婦人會	9		4	9	1	1															2	3	9	
平均出席	10		1	3	1	1															1	10	10	
組合																								
平均出席																								
洗禮者數				4	1	4								5	1	2					6	1	2	2
求道者數																								
聖書配布數	11			11	3	5	1	7	7	3	1	9									1	2	5	10
聖書配布數	180	315	45	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150

教勢一般



終

Fragment of a document with faint, illegible text, possibly bleed-through from the reverse side. The text is arranged in vertical columns and is mostly obscured by the paper's texture and damage.